

Q5. Q4で選んだ手法を現在の業務に取り込むときに、難しいと考えることは何ですか？
2つまで選択してください。

- 1 現在の業務が忙しく、新しいことに手をつけることができない
- 2 組織内(院長や施設管理者)の理解が得られない
- 3 組織の職員の理解が得られない
- 4 行政(市)の方針等が不明瞭なため進められない
- 5 他の組織(団体)の動向がわからないと決められない

〔Q6 Q5を解決するための有効な方法〕

Q6. Q5で選んだ項目を解決する場合、どのような方法が有効だと思いますか？
2つまで選択してください。

- 1 統一のルール・ツールを、市内の医療機関や事業所全体で合意する
- 2 取り組んでいる医療機関や事業所を市のホームページなどで随時公開する
- 3 地域の研修会や職能団体の勉強会などで、実際の取組み事例などを繰り返し伝達する
- 4 統一のルール・ツールを各医療機関や事業所の業務マニュアルに反映する
- 5 取り組んでいない医療機関や事業所の管理者等に対し、行政から強く協力を求める

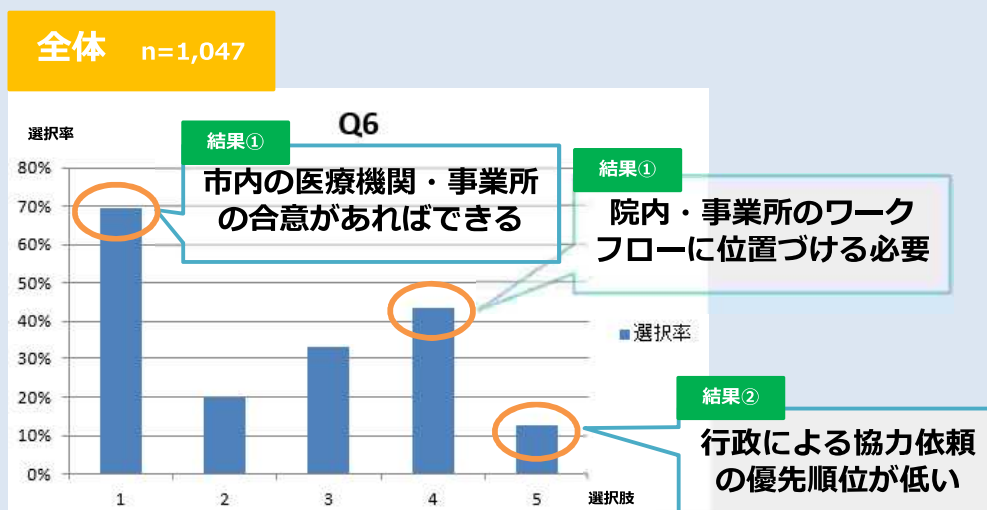
Q7. 医療・介護連携において、情報伝達がうまくいかないことによって、業務上支障が生じていますか？
1つ選択してください。

- 1 悪影響や業務上の支障は生じていない
- 2 個々の職員の努力により、患者・利用者への支援・療養に支障は出ていない
- 3 個々の職員が努力しているが、患者・利用者への支援・療養にやや支障が生じている
- 4 個々の職員が努力しているが、患者・利用者への支援・療養に支障が出ている

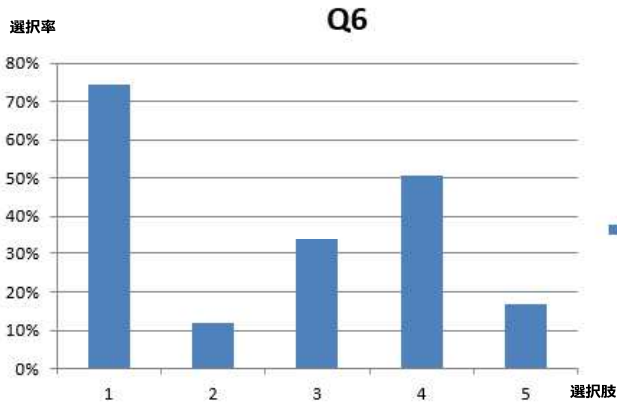
結果

〔Q6 Q5を解決するための有効な方法〕

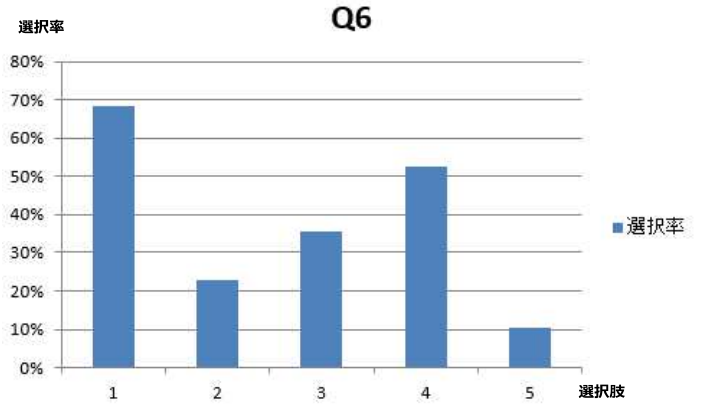
- ① すべての職種で「ルールやツールの普及・活用には市内の医療機関・事業所の合意が有効である」
また、「業務マニュアルに反映させる必要がある」と感じていた。
- ② 一方でルールやツールの普及・活用について、行政主導の優先順位が低い。



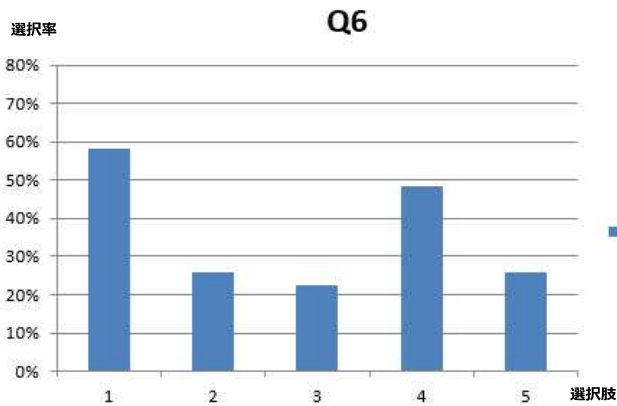
救急告示病院(病棟看護師) n=64



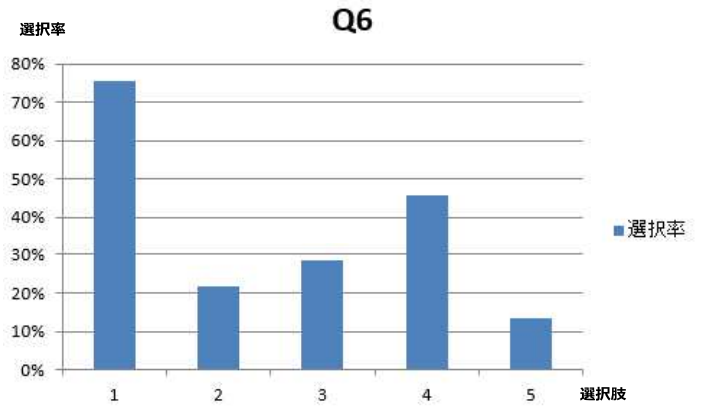
その他の病院(病棟看護師) n=225



救急告示病院(地域連携室) n=31

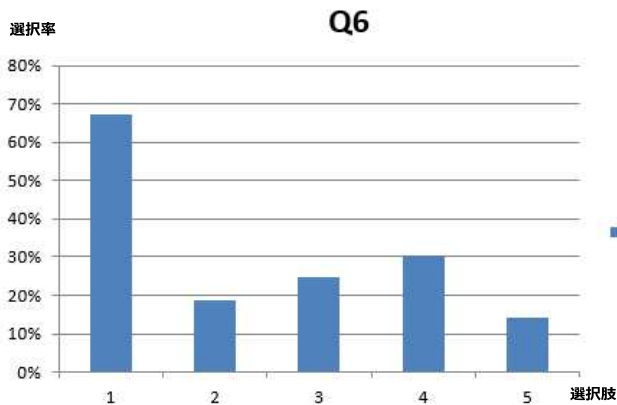


その他の病院(地域連携室) n=74

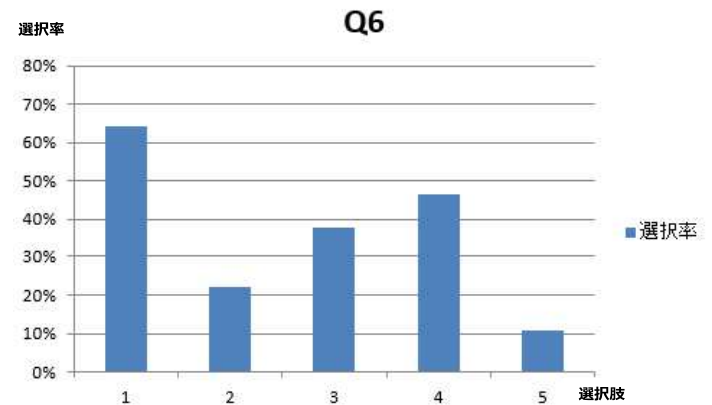


概ね同様の傾向

診療所 n=150

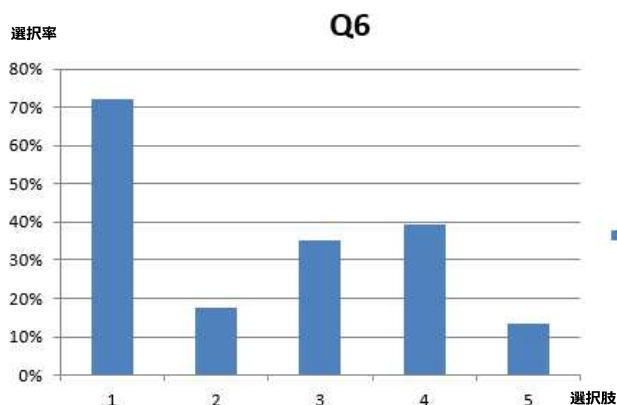


訪問看護ステーション n=171



概ね同様の傾向

ケアマネ事業所 n=301



統括支援センター n=31

